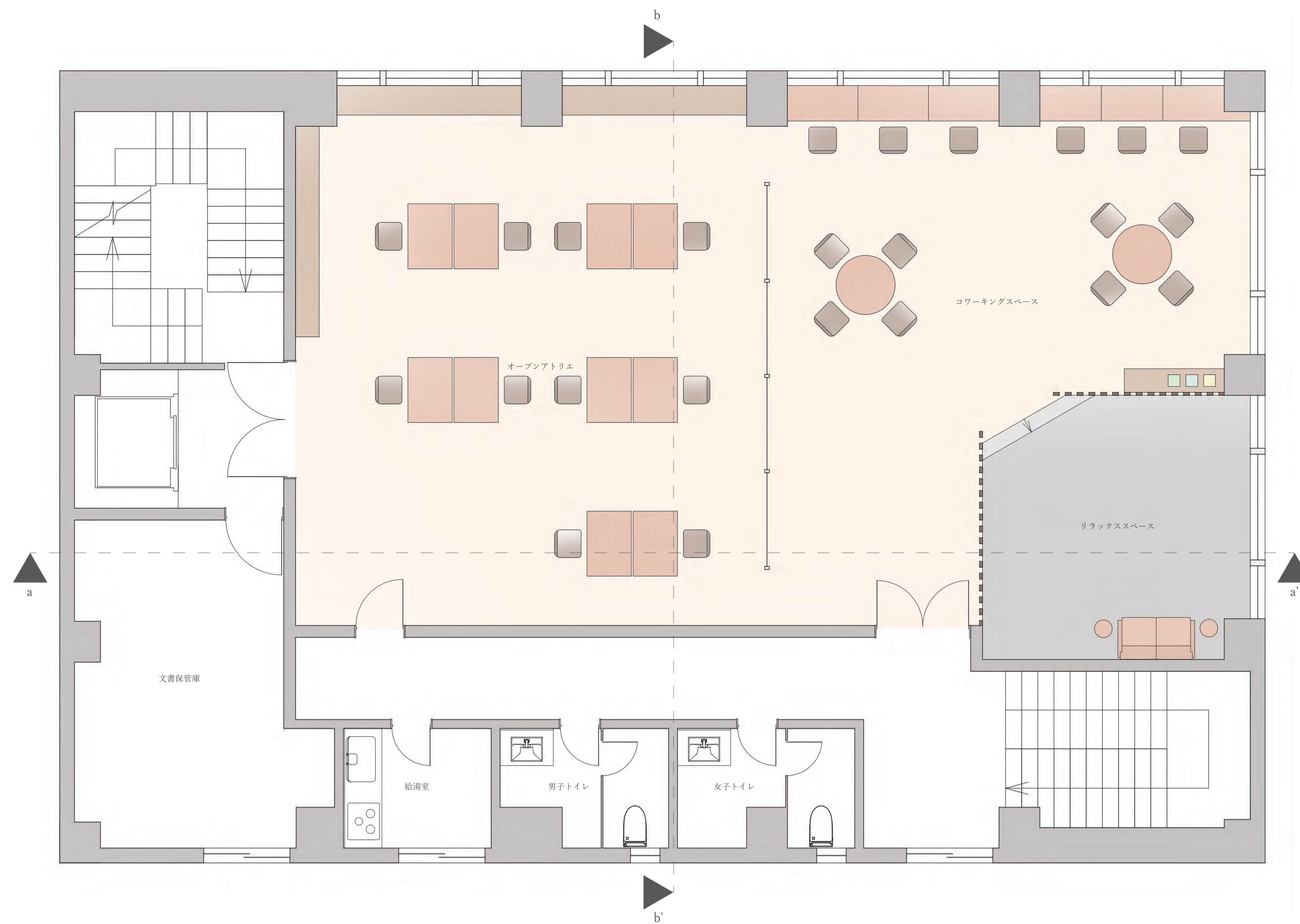


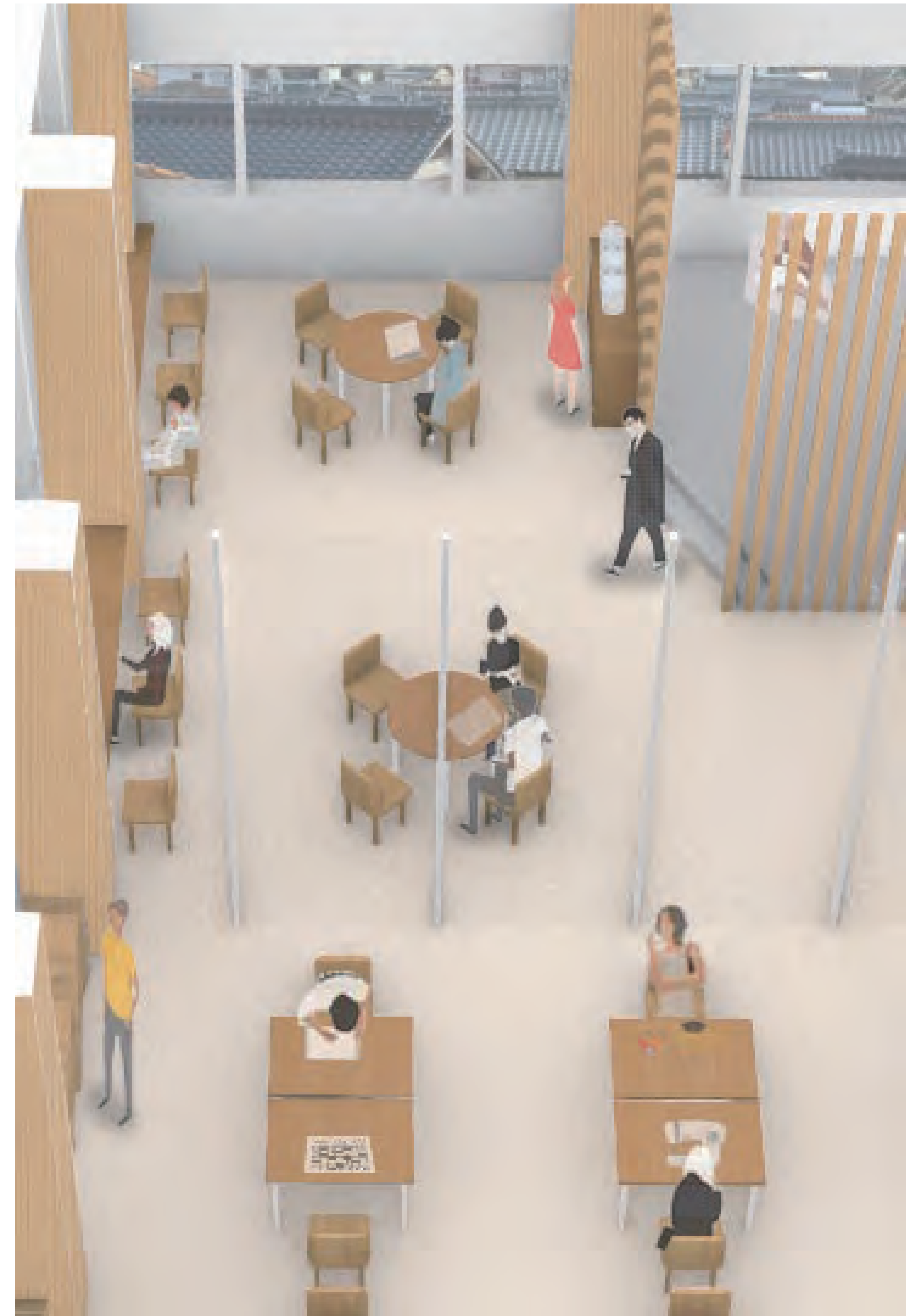
栃尾での活動を応援する場所

3階は、大会議室をオープンアトリエとワーキングスペースとして活用する。

広すぎて使うことが勿体ないといわれた空間を2つに分けることで、
気軽に使える空間を目指す。



3階平面図 S=1:50



創作意欲を応援する「オープンアトリエ」

白昼堂々でのイベント開催時のワークショップスペースや、谷内通りの方のコミュニティスペースとして使用する。

また、今まで「何かをつくりたい」と思っていた人に向けて、その製作活動を始める場所に。

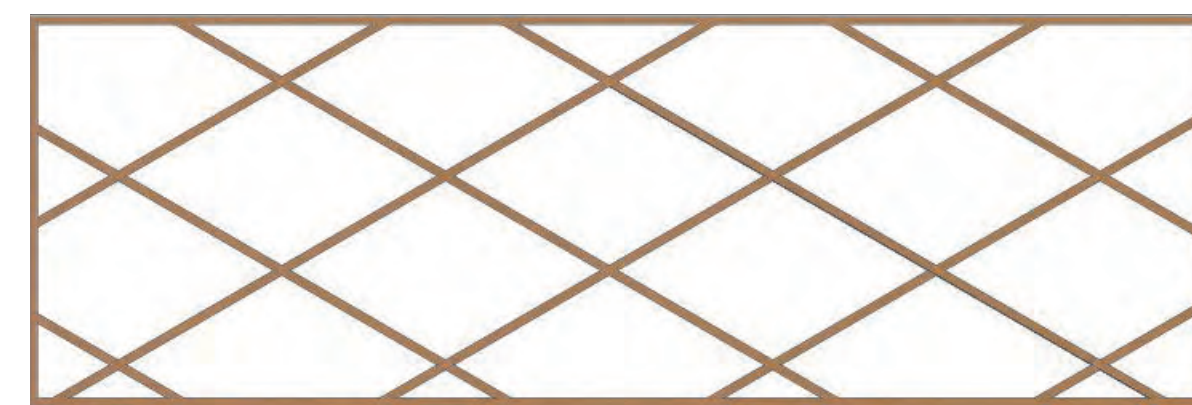
新しい環境での仕事「コワーキングスペース」

昨年からのコロナ禍の影響で、在宅ワークをする人が増えた。自宅での作業が思うように進まない人や、環境を少しでもリフレッシュしたい人に向けたコワーキングスペースに。

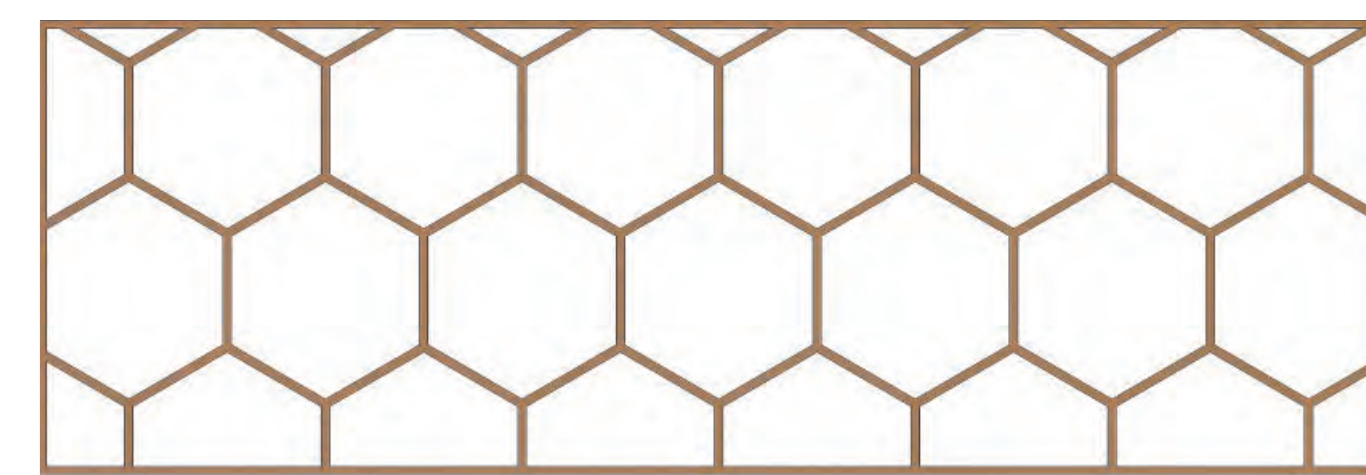


てまりの柄は少なくとも100種類を超え、作り手の個性や色の組み合わせでも全く違うようなものが生まれる。この収納什器の形は、てまりの柄や和柄として多く使用される、菱形と六角形を選択。

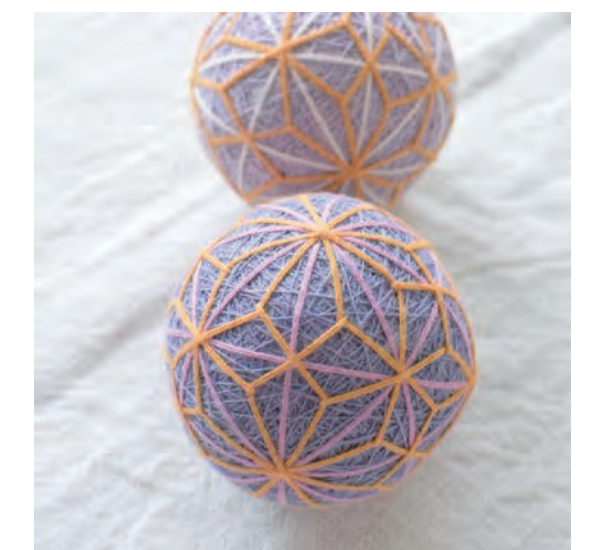
てまりは最初からその形で縫わずに、糸と糸の重なり合いでその形が見えてくる。一見、「てまりっぽさ」は感じられないが、よく見たら「てまりっぽさ」を感じられ、間接的にてまりを意識出来るような柵にする。

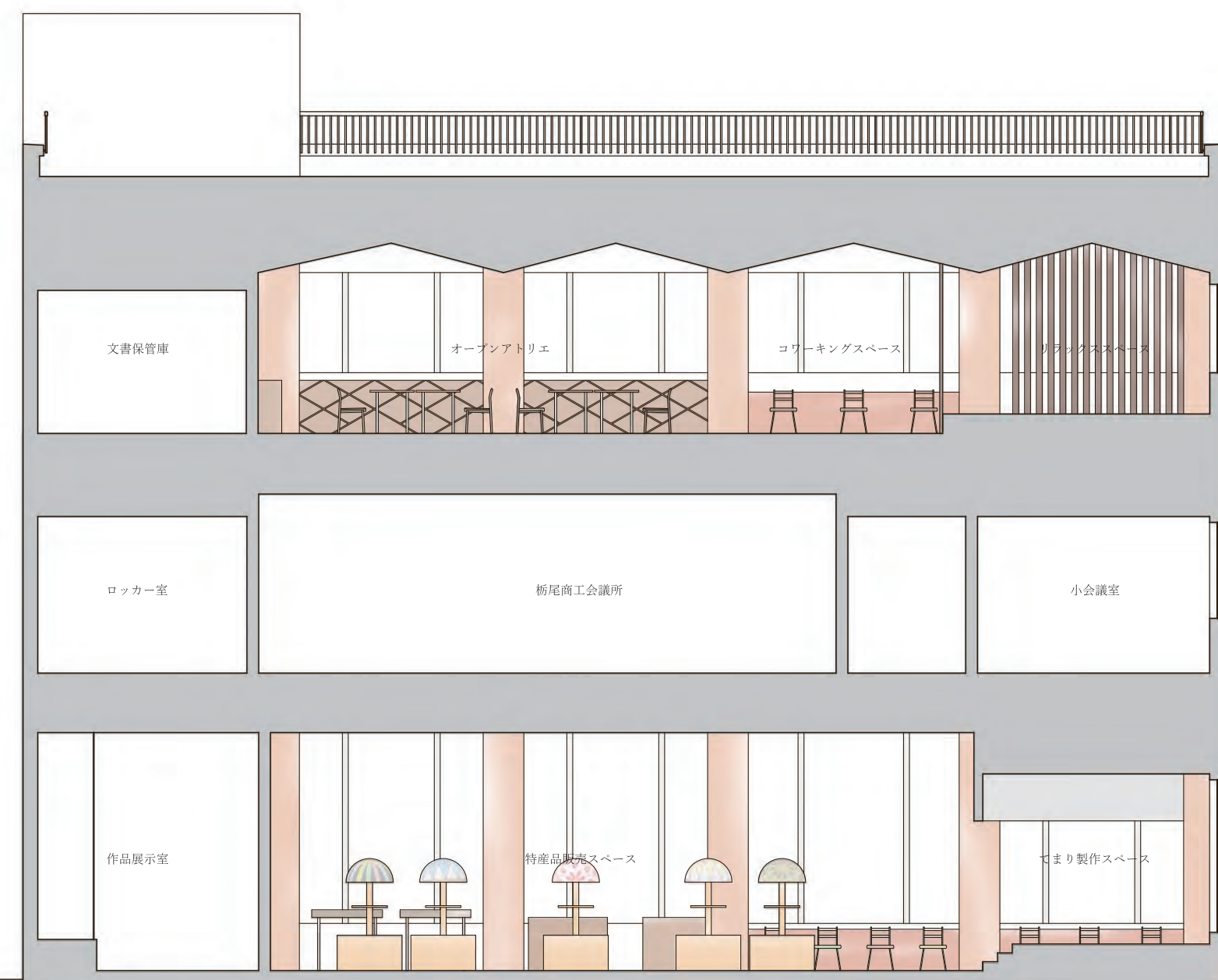


S=1:20



S=1:20

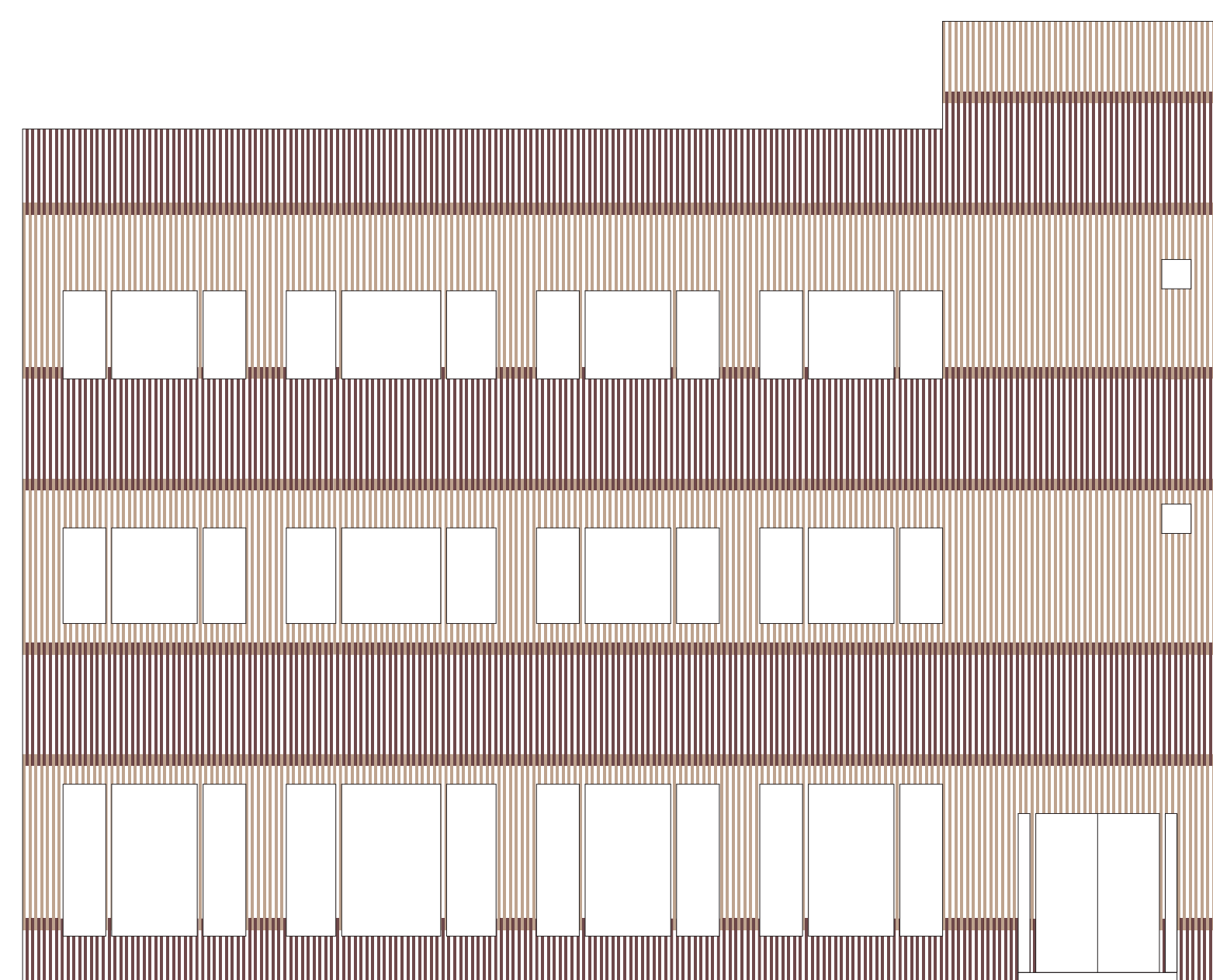




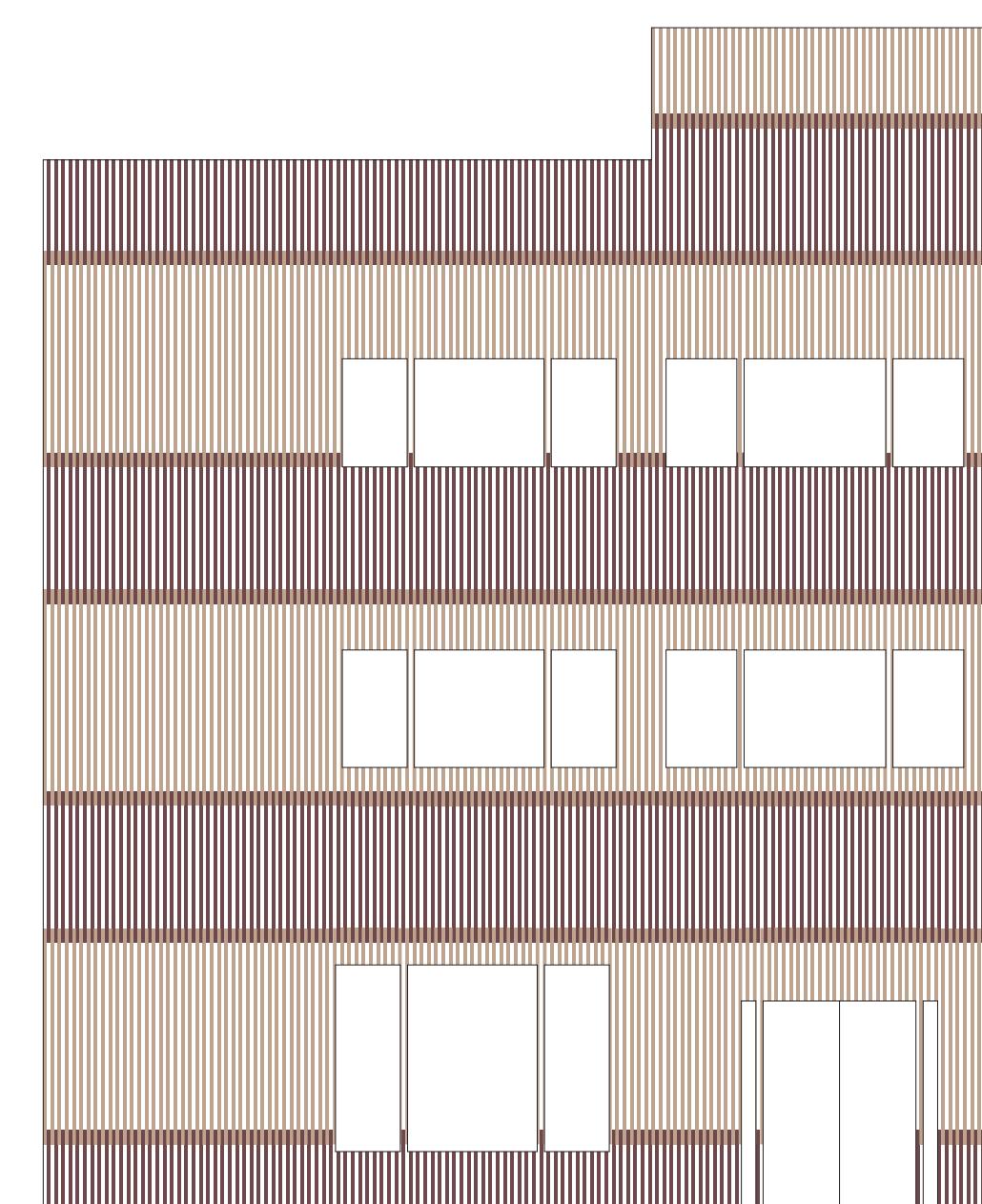
a-a' 断面図 S=1:100



b-b' 断面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100



材料として、アオーレ長岡にも使われている
越後杉を使用。
無垢材と焼杉にすることで、感触や視覚の違いを
感じられるようなファサードを目指す。

